

No.18 北海道・斜里町（ビレッジプライド研修）

| | |
|-------------|-------------------------------|
| 地域力創造アドバイザー | 寺本 英二氏（A-575） |
| 活用分野 | 地域づくり人材の育成・教育（人材研修） |
| 活用期間（頻度） | 令和6年度～令和8年度（月1回程度） |
| キーワード | #人材育成 #人材研修 #人材確保 #地域づくり 地域課題 |

【目的】

少子高齢化の影響が広まる中、全国的に公務員離れが起きており、斜里町においても職員応募者数の減少、離職者数の増加により、公務サービスの維持が危惧される状況につながっている。

このため、改めて「斜里町」で働く魅力を感じ、各職員がその能力が高められるよう、斜里町の課題、斜里町の職員自身が斜里を学び、斜里について考え、斜里の課題解決に向けての提案等、グループワークを中心とした系統的かつ集中的な研修を行う。地域住民を支える地方公務員として、力量の向上・コミュニケーション能力の向上を目指す。

【内容】

- 若手職員を対象に、地域課題解決・政策立案に関するグループワークを中心とした通年の研修を行う。
- 若手職員研修・政策立案に対する提言等

【成果（見込み）】

- 地方公務員としての力量向上・コミュニケーション能力の向上。実際に町の政策立案を行う。



（町長等への政策提言）

No.43 山形県中山町（課題解決のための政策立案）

| | |
|-------------|-------------------------------|
| 地域力創造アドバイザー | 寺本 英仁氏（A575） |
| 活用分野 | 10.地域づくり人財の育成、教育 |
| 活用期間（頻度） | 令和6年度～令和7年度（月1回） |
| キーワード | #人材育成、#課題解決、#伴走支援、#コミュニケーション力 |

【目的】

地域力創造アドバイザー指導のもと、自分の働く職場や生活する地域に誇りを持ち、職員同士の柔軟かつ良好な横のつながりを築くとともに、町や職場の課題解決に取り組む経験を通して組織全体のチーム力向上を図りながら、地域独自の魅力や価値の向上など地域力の高めていく。

【内容】

- ①前期は、設定したグループ課題（3点）から1つを選択、グループ内で協議を繰り返しながら課題解決を図る。
- ②グループ課題に対する「課題解決フォーマット」を作成、さらにそのフォーマットを基にプレゼン資料を作成し、課題解決の方法を発表する。
- ③後期は、各職員が従事する業務における課題及びその解決にむけた「課題解決フォーマット」の作成。
- ④「課題解決フォーマット」を基にプレゼン資料を作成、課題解決の方法を発表する。

【成果（見込み）】

- ①1つの課題を解決に向け調査・検討を繰り返しながら、チームとしての課題解決策を提案できる組織力・チーム力を養う。
- ②各職員が抱える課題や情報を共有することで、互いがどのような業務に従事し、どのような課題に直面しているのか、相互理解を深めながら、個人の能力及びでチーム力を向上させていく。
- ③職員各自の業務課題に対する政策立案を、他の部署で働く職員の助言を受けブラッシュアップを繰り返しながら整理・検討していくことで、課題解決能力を磨きあげる。



（研修の様子）

No.107 静岡県・伊豆市（ビレッジプライド研修）

| | |
|-------------|-------------------------|
| 地域力創造アドバイザー | 寺本 英仁氏（A575） |
| 活用分野 | 地域づくり人材の育成・教育（人材研修） |
| 活用期間（頻度） | 令和7年度～令和9年度（月2回程度） |
| キーワード | #人材育成 #若手職員 #事業提案 #課題解決 |

【目的】

- ・これからの伊豆市を担う職員の人材育成
- ・若手職員が自身の将来ビジョンを前向きにイメージできる研修プログラムの充実

【内容】

研修生各人で任意のテーマを設定。課題解決に向けて政策立案フォーマットを作成し、4～5人で分けられたグループ内でワークショップを開催し、フォーマットのブラッシュアップを実施。完成したフォーマットを基にプレゼンテーション用の資料を作成し、成果発表会を開催する。アドバイザーはフォーマット・プレゼンテーション資料作成におけるアドバイスや成果発表でのプレゼン指導をおこなう。



ワークショップの様子

【成果（見込み）】

- 研修を通して市の抱える課題を確認し、これを解決するための想定力を向上。
- ワークショップにおいて他者の説明を聞き、意見することでヒアリング力を向上。
- 成果発表会の開催により相手に自分の考えや思いを伝えるためのプレゼン力の向上。
⇒作業をグループでおこなうことで情報の共有化を図り、チーム力の向上につなげる。



アドバイザーからの助言